

豊山ゼミナール米原市宿泊研修

2019年5月25日（土）、26日（日）に滋賀県米原市にある米原市シルバー人材センターへ宿泊研修に行きました。今回の研修ではセンター理事長の中川雅晴さん、事務局長の澤頭利男さん、業務課長の北森宜子さん、「田んぼっ湖カフェ」店長の田中大作さんを始めとして、たくさんの方にお世話になりました。

1日目はまず田中店長が「田んぼっ湖カフェ」の運営を、シルバー人材センターが担うようになった経緯を説明してくださいました。独自事業を実施するには計画策定、資材調達、設備設置、お金の管理・配分など、**大変な苦労がある**とおっしゃっていました。

次に米原市長の平尾道雄さんがお忙しいなか、お越しくださり、**市がシルバー人材センター事業に大きな期待を寄せている**ことを熱く語っていただきました。「かつて老後は年金でそれなりに生活ができていたが、今はそれが厳しくなっている。だからシルバー世代も事業をやる必要がある。だからセンターに期待する」というのが市長の基本的な考え方でした。**地元のZTVも取材に来ており、当日の様子はケーブルテレビで放送されます。You Tubeに後日アップされるので、私たちはネットを通して見ることもできます。**

その後は会員さんの指導で木工体験をしました。のこぎりやかんなやノミの扱いに手間取りながら一輪挿しを完成させました。会員さんにはボランティアとしてではなく、**私たちがお金を支払い、仕事としてやっていただきました。**

2日目はマルシェで販売するおはぎ作りの手伝い、マルシェで販売する会員さん栽培の野菜の品出しをおこないました。家庭菜園で作るので、大した量にはなりませんが、それでもシルバー人材センターの会員になるとマルシェに出品することができ、ちょっとした小遣いを稼ぐことができます。米原市シルバー人材センターの**会員が増えているのも、こうした仕掛けがあるからだろうな、**と思いました。



座学の授業とは違い、FWゼミでしか体験できないことばかりでした。宿泊研修ではゼミ生同士も仲良くなることができました。少子高齢化が進んでいる社会ではありますが、**元気なシニアがたくさんいるという視点で、様々な問題に取り組んでいきたいです。**